

水鳥 観察記録

(2023 年度は速報値)

白鳥庭園		年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	徳川園									
種数			5	5	7	8	6	6	7	8	8	10	8	8	9	10	8	6	1	5	3	3	2	2	年度	種数	徳川園	
留鳥	カルガモ		●	●	●	●	●	●	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	*	◎			◎	○		カルガモ	留鳥	
	カワウ		●	●	◎	◎	◎	◎	◎	●	◎	●	*	◎	◎	●	*	●								カワウ		
	カワセミ		○	○	●	*	○	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○							カワセミ		
	アオサギ		*		○	*	○	●		●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎										
	ダイサギ		*					*	*	○			*				○	*										
	コサギ		○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	○										
	ゴイサギ				○						*	○	◎				◎											
イソシギ																*												
夏	ササゴイ		*		◎		*		◎	◎	*	*	◎	*	◎	*	◎		*							ササゴイ	夏	
冬鳥	ユリカモメ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									冬鳥	
	マガモ		*		○	○	○				*		◎		*					●	○	○	○	○	○	マガモ		
	コガモ		*	*							○																	
	キンクロハジロ					○										○	○											
	ホシハジロ								○	○				○	○		*											
	ハシビロガモ										○	○				*												
	オカヨシガモ																	○										
ヒドリガモ										*						○	○								ヒドリガモ オナガガモ			

*カワセミは陸鳥ですが、水辺の鳥なので水鳥のページで取り扱いました。

< 留鳥 >

▶白鳥庭園では、カルガモ、カワウ、カワセミ、アオサギ、コサギが定着しています。

いずれも、市内の多くの水域で見かける種（市内主要緑地での出現率が6割以上）です。

ダイサギ、ゴイサギを見かける年もあります。

▶徳川園では、カワセミが冬季に定着しています。

< 夏鳥 >

▶白鳥庭園では、ササゴイの訪れる年が結構あります。

▶徳川園では、ササゴイが南へ帰る途上に一時立寄ったことがあります。

< 冬鳥 >

▶白鳥庭園では、ユリカモメが冬の常連です。

また時折、近隣の堀川や大夫堀に冬季滞在しているカモ類（マガモ、ホシハジロなど）も、白鳥庭園へやって来ます。

*2023年度は大夫堀の工事のため来訪せず。

▶徳川園では、マガモが留鳥化して子育ても行っていましたが、近年は繁殖場所を変えたらしく、冬場だけの飛来となりました。

また時折、他のカモ類がマガモに混じって一緒に泳いでいることもあります。

【注】2008～2023年度の撮影・確認記録 (by 飯田康博)

種数 繁殖期 or 越冬期に確認されたもの（渡り期等は算入せず）

太字 定着しているもの

黒字 確認実績あり（繁殖期・越冬期）

黒字 一時立寄り実績あり（渡り期など）

● 繁殖期・越冬期ともに撮影記録あり

◎ 繁殖期の撮影記録あり（繁殖期＝5-7月、但し夏鳥は6-7月）

○ 越冬期の撮影記録あり（越冬期＝12-2月）

△ 撮影していないが、繁殖期 or 越冬期の確認あり

* その他の時期に撮影記録あり（渡り期等）

名古屋の水鳥（タイプ分け）

2014年度に名古屋市内で「繁殖期および越冬期」を過ごした水鳥は、下表の62種。 * 他に、「渡り途上に一時立ち寄り」した旅鳥34種あり。

これを、市内52の観察地での出現率によってタイプ分けしました。

* 全市の詳細は、<https://monosashi758.org> > 報告書アーカイブ > 名古屋の野鳥マップ改訂版

白鳥庭園に定着している水鳥は6種（ユリカモメを除く5種が、市内で身近なシティ派の留鳥）。

白鳥庭園に定着してはいるが確認実績ありが10種（サギ類3種、カモ類7種。カモ類は隣接する太夫堀や堀川からの出張）。

出現地区の割合	各所で見かける (河口部・河川・ため池)	河口には少ない (河川+ため池)	ため池には少ない (河口部+河川)	河口部が主体
シティ派 主要緑地（観察地）の 6割以上で見かける	■カワウ ■アオサギ (サギ) ■コサギ (サギ) ■ダイサギ (サギ) ■カワセミ ■カイツブリ	■カルガモ (カモ) △コガモ (カモ) △マガモ (カモ)	■ : 留鳥 ○ : 夏鳥 △ : 冬鳥 ■ : 白鳥庭園に定着（ほぼ毎年見かける） △ : 白鳥庭園での 確認実績あり （過去にきたことがある） ■ : 白鳥庭園で渡り期等の 一時立ち寄り実績あり 灰色字：白鳥庭園での 確認実績なし * データは、「名古屋の野鳥2014（名古屋市緑政土木局）」による。	
中間派 同 2割以上	■ゴイサギ (サギ) ■ケリ (チドリ) △ユリカモメ (カモ) △コアジサシ (カモ) △オオバン △カンムリカイツブリ	△ホシハジロ (カモ) △ハシビロガモ (カモ) △キンクロハジロ (カモ) △ヒドリガモ (カモ) △オカヨシガモ (カモ) △オナガガモ (カモ)	■バン ■イソシギ (シギ) ○ササゴイ (サギ) ○コチドリ (チドリ)	
深窓派 同 2割未満	△ハジロカイツブリ △ヨシガモ (カモ) △ミコアイサ (カモ)	■イカルチドリ (チドリ) ■コブハクチョウ (カモ) ■ヒクイナ ○チュウサギ (サギ) ○アマサギ (サギ) ○ヨシゴイ (サギ) △クサシギ (シギ) △ヤマシギ (シギ) △カワアイサ (サギ) △オシドリ (サギ) △クイナ	△タシギ (シギ) △オオハシシギ (シギ) △タゲリ (チドリ) △セグロイカモメ (カモ)	■シロチドリ (チドリ) △ダイゼン (チドリ) △ハジロチドリ (チドリ) △ハマシギ (シギ) △ダイシャクシギ (シギ) △アオアシシギ (シギ) △セイタカシギ (シギ) △スズガモ (カモ) △ホオジロガモ (カモ) △ツクシガモ (カモ) △ウミアイサ (カモ) △トモエガモ (カモ) △アメリカコガモ (カモ) △アメリカヒドリ (カモ) △カモメ (カモ) △オオセグロカモメ (カモ) △シロカモメ (カモ) △スグロカモメ (カモ) △ウミネコ (カモ)